資料１

１．Ｒ６芽室町議会活性化計画主要事業

「分かりやすい議会、開かれた議会、行動する議会」を目指して

主要３項目

１　議会運営の基本理念と基本方針の共有

→「議会基本条例」の点検と検証

→新たな議会運営（第３ステージ）に向けた体制構築

２　多様な議員のなり手実現に向けての環境創出

→議員定数・報酬のあり方の再考

→議員のなり手不足解消に向けた方策再考

３　議員間討議を前提とした政策形成サイクルの再起動

→計画的な協議・議論に基づく機能的な政策提案

→町民の声を議会の行動につなげる機動的な政策形成の実践

A＝おおむね達成した
B＝達成しているが改善余地あり
C＝達成していない
D＝取り組んでいない

②改善・新規活性化５事項

項　　目		内　　容	達成時期
■新規事項	区分		
1．外部評価による議会活動の精査と向上	継続	~~・議員研修・議員間討議による議会活動の目標設定（前年度未達事項）~~ ・議会モニターによる外部評価（前年度未達事項）	R7年3月
2．自己評価制度の分析と改善	継続	・HOPS提言に基づく議会内検証（議員間討議の活用） ・議会サポーターの専門的知見の活用（諮問会議答申事項）	R7年3月
3．情報公開の点検と見直し	新規	・検討スケジュール（検討項目・優先順位等）の整理（諮問会議答申事項） ・「芽室町議会の個人情報の保護に関する条例」の理解と実践 ・わかりやすい「議会活性化計画書」への検討と改正（HOPS提案事項） ・読まれる「議会白書」への検討と改正（HOPS提案事項）	R7年3月
4．広報広聴の機能拡充と手法の改善	新規	・議会モニター機能の拡充（改正モニター規程の効果・効率的な運用） ・町民との意見交換会の手法改善（諮問会議答申事項） ・専門技術（民間活力）を活用した広報の検討（諮問会議答申事項）	R7年3月
5．多様な議員のなり手実現に向けて検証	新規	・議員間討議の実施 ・目的の明確化と事業内容の協議、検討 ・「（仮称）議員のしくみ」等広報の検討 ・政務活動費の導入検討 ・活動量の精査と質の向上→定数と報酬の根拠（諮問会議答申事項）	R7年3月

進捗工程表

達成時期：R7 年 3 月

所管委員会：議会運営委員会

施策（事業）名：１　外部評価による議会活動の精査と向上

【現　状】

○ 外部評価の前提となる個々の議会活動に係る議会の目標設定（PDMシート）について、共通認識が図られていない。

【目指す姿（目標）】

● 外部評価により議会として取り組むべき事業を精査し、また、手法を見直すなどし、事業の質の向上と目標達成を目指す。

【課題・政策】

- 議会内で外部評価の共通認識を図るため、年度の早い時期に議員研修を開催する。
- 外部評価の前提となる事業の目標設定は、議員間討議の手法を活用して導く。

［取組内容］

- ~~ＰＤＭシートを用いた事業の成果分析（対象事業の目的、目標の共通認識）~~
- 議会モニターによる外部評価の実施

［工程詳細］

項　目	Ｒ５年度		Ｒ６年度		Ｒ７年度		Ｒ８年度		備考
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
~~外部評価対象事業の目的、目標の共通認識~~	→	→							
議会モニターによる外部評価の実施			→	→					

進捗工程表

達成時期：R7 年 3 月

所管委員会：議会運営委員会

施策（事業）名：２　自己評価制度の分析と改善

【現　状】

○ これまでも見直しを行い実施しているが、目的･意義･手法等の課題について、その具体的な整理･解決に至っていない。

【目指す姿（目標）】

●意義及び評価結果の活用について、議員間で認識を共有する。

●条文の趣旨に沿う具体的な評価方法を整理する。

【課題・政策】

- 現行制度の確認・分析と課題の抽出（ＨＯＰＳ提言の活用）。
- 課題解決に向けた改善策（方法）の協議・検討。
  （目的・手法・意義・活用・効果等項目を設定し議員間討議により整理する）

［取組内容］

- ~~自己評価の目的、意義の共通認識を図る~~
- 自己評価結果の検証
- 評価手法の目的と成果の検証

［工程詳細］

項　目	Ｒ５年度		Ｒ６年度		Ｒ７年度		Ｒ８年度		備考
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
~~自己評価の目的、意義の共通認識~~	→	→							
自己評価結果の検証			→	→					
評価手法の検討と実行			→	→					

進捗工程表

達成時期：R7 年 3 月

所管委員会：議会運営委員会

施策（事業）名：３　情報公開の点検と見直し

【現　状】

○ 開かれた議会をスローガンに積極的な情報公開に努めているが、費用対効果や法令適合等の視点でチェックする必要性がある。

【目指す姿（目標）】

●年次計画により、適正な運用が図られるよう点検と見直しを図る。（①法令及び条例の理解・②HOPS 提言事項の検討・分析）

【課題・政策】

- 個人情報保護・情報公開の法令・例規等基礎知識の研修
- ＨＯＰＳ提言事項（活性化計画書・議会白書）の確認・点検と改善事項の協議・検討
- 議会改革諮問会議答申及び住民からの指摘事項に対する方策の協議・検討

［取組内容］

・法令等基礎知識の研修の実施

・ＨＯＰＳ提案事項（活性化計画書・議会白書）の確認・点検と改善事項の協議・検討の実施

・諮問会議答申事項の協議・検討の実施

［工程詳細］（R6 年度にスライド）

項　目	Ｒ５年度		Ｒ６年度		Ｒ７年度		Ｒ８年度		備考
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
法令等基礎知識の研修	→	→							
ＨＯＰＳ提言事項の検討	→	→							
諮問会議答申事項の検討	→	→							

進捗工程表

達成時期：R7 年 3 月

所管委員会：議会運営委員会

施策（事業）名：４　広報広聴の機能拡充と手法の改善

【現　状】

○ 豊富な広報広聴の各種メニューについて、適宜見直しながら運用している（議会だより、モニター制度等）。

【目指す姿（目標）】

● 議会モニターの活用強化

● 住民ニーズを踏まえた「町民との意見交換会」への刷新

【課題・政策】

- 改正後のモニター設置規程に基づく、日常の議会、委員会活動における住民意見聴取と反映
- 町民との意見交換会の手法の見直し（モニター会議での自由意見・議会改革諮問会議答申）
- 「議会のトリセツ」「議員個人のページ作成」など、HOPS からの提言を形にする検討

［取組内容］

・モニターからの意見聴取の工夫の検討
・町民との意見交換会の手法の見直しの実施
・ＨＯＰＳからの提言事項（「議会のトリセツ」、「議員個人ページ作成」等）についての検討・実施

［工程詳細］（R6 年度にスライド）

項　目	Ｒ５年度		Ｒ６年度		Ｒ７年度		Ｒ８年度		備考
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
モニターからの意見聴取の工夫	→	→							
意見交換会手法見直し	→	→							
ＨＯＰＳ提言事項の検討	→	→							

進捗工程表

達成時期：R7 年 3 月

所管委員会：議会運営委員会

施策（事業）名：５　多様な議員のなり手実現に向けての検証

【現　状】

〇2023年の町議選は無投票だった。多様な議員のなり手実現に向けた環境創出の再考が必要。

〇~~高校生との連携事業等（白樺高校、芽室高校）について、目的の明確化、事業内容の協議・検討が必要。~~

【目指す姿（目標）】

●個別事業の目的と効果・成果を明確にする。

●多様な町民が議員を志すことができる

【課題・政策】

- 議会改革諮問会議の答申を尊重し、議員の「働き方改革」を念頭に置き、公務としての活動量は「報酬と定数の根拠」になることを意識して検討する。
- 多様な議員のなり手を目指した「（仮称）議員のしくみ」等専門技術を活用した広報の検討
- 政務活動費の導入の検討、定数と報酬のあり方の再考
- ~~高校生との連携事業等の目的と目標の明確化、事業内容の協議、検討~~

［取組内容］

・議員間討議の充実

・~~高校生との連携事業等についての目的の明確化と事業内容の協議、検討~~

・「（仮称）議員のしくみ」等広報の検討

・政務活動費の導入検討

［工程詳細］（R6 年度にスライド）

項　目	Ｒ５年度		Ｒ６年度		Ｒ７年度		Ｒ８年度		備考
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
議員間討議の実施	→	→	→	→					
~~高校生との連携事業等についての目的の明確化と事業内容の協議、検討~~	→	→							

「（仮称）議員のしくみ」等広報の検討	→	→							
政務活動費の導入検討	→	→							